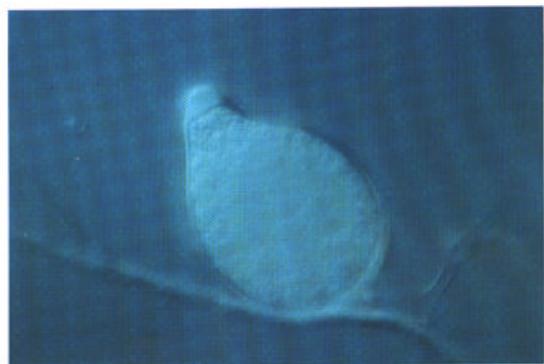


〈キヅタ疫病〉



セイヨウキヅタの罹病株。



病原菌の遊走子のう。

〈キヅタ疫病〉

病原菌：Phytophthora nicotianae van Breda de Haan

1. 症 状

葉や茎に暗緑色、水浸状の病斑を生じ、高温多湿下で急速に拡大して黒変枯死する。

2. 生 態

病原菌は遊走子のうを形成し、遊泳能力を有する遊走子を放出するため、多湿状態で急速に蔓延する。本病菌は高温を好み、多犯性で、多くの植物に疫病を起こす。

3. 防 除

1) 栽培環境が高温多湿にならないよう、施設ではよく換気し、過灌水とならないよう注意する。

2) 播し木繁殖のさいは健全株から採穂する。

4. 記 事

本病は1995年10月、西多摩の施設ポット栽培で発生した。